

2022年12月2日

各位

株式会社 地域デザインラボさいたま

松伏町の「令和4年度松伏町企業版ふるさと納税支援業務委託」の受託について

りそなグループの地域デザインラボさいたま(社長 青木 大介、以下「ラボたま」)は、企業版ふるさと納税制度を活用した地域課題解決を目的に、本日、松伏町から「令和4年度松伏町企業版ふるさと納税支援業務委託」を受託しました。

※企業版ふるさと納税制度は、自治体が行う地方創生事業に対して寄附を行った企業に、税負担の軽減措置が与えられることで、地方創生の充実・強化を図る制度

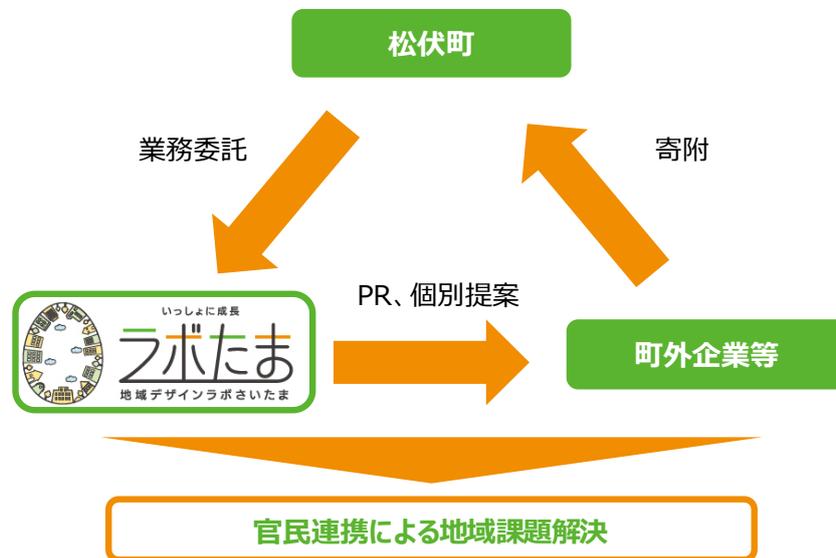
➤ 財源確保と地域課題解決事業をサポートし、持続可能な地域社会の実現を目指します

松伏町は、「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！」の実現に向け、様々な施策を展開しています。ラボたまは、りそなグループの幅広いネットワークを生かした寄附候補企業の開拓や寄附実現に向けた地域課題解決事業の企画立案をサポートし、財源の確保と地域課題解決政策の実現を後押しします。

【業務概要】

事業期間	2022年12月～2023年3月
実施業務	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外の企業へのプロジェクトの周知 ・支援先企業の寄附の働きかけ

【イメージ図】



ラボたまは今後も産学官金連携のハブ機能を発揮し、自治体の財源確保や中間支援組織等*の地域の担い手の発掘・育成を通じて、地域のこまりごとを解決し、日本一暮らしやすい埼玉県の実現を目指します。

※まちづくり会社や観光協会など、地域の担い手によって運営される、行政と地域の間になって様々な活動を支援する組織

以上